

市民意識調査報告書

平成 1 9 年 5 月



目 次

| | | | |
|-------|-----------|-------|----|
| 第 1 章 | 市民意識調査の概要 | ----- | 2 |
| 第 2 章 | 単純集計結果 | ----- | 3 |
| 第 3 章 | 調査結果まとめ | ----- | 17 |
| 第 4 章 | 自由回答結果 | ----- | 20 |

第 1 章 市民意識調査の概要

(1)

調査目的

今後の行政経営のあり方における重要な視点の一つとして、「市民の視点に立った成果重視の行政経営の確立」を掲げている。

平成 19 年度からスタートした市政運営の基本方針である「第 1 次掛川市総合計画」ではそれぞれの政策・施策の目標として、具体的に市民の皆様がどのようなまちになってほしいのかを「めざす姿」として捉え、数値目標を掲げて運営管理を行っていくこととしている。

(2) 調査対象

① 調査対象

市内にお住まいの 20 歳以上の全ての市民の中から 2,000 人の方々を抽出し、男女比率を 1 対 1 とし、年齢階層ごとに均等に抽出した。

② 配布数

2,000 枚を配布した。

(3) 調査期間と調査方法

① 調査期間

平成 19 年 4 月 26 日～平成 19 年 5 月 15 日

② 調査方法

郵送発送・回収

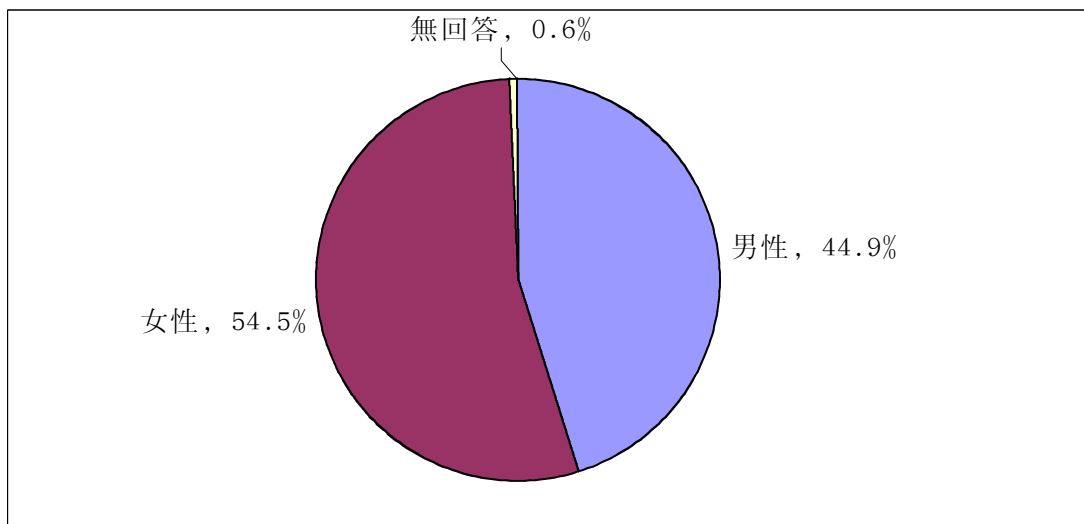
(4) 回収状況

860 枚回収（回収率 43.0 %）

第2章 単純集計結果

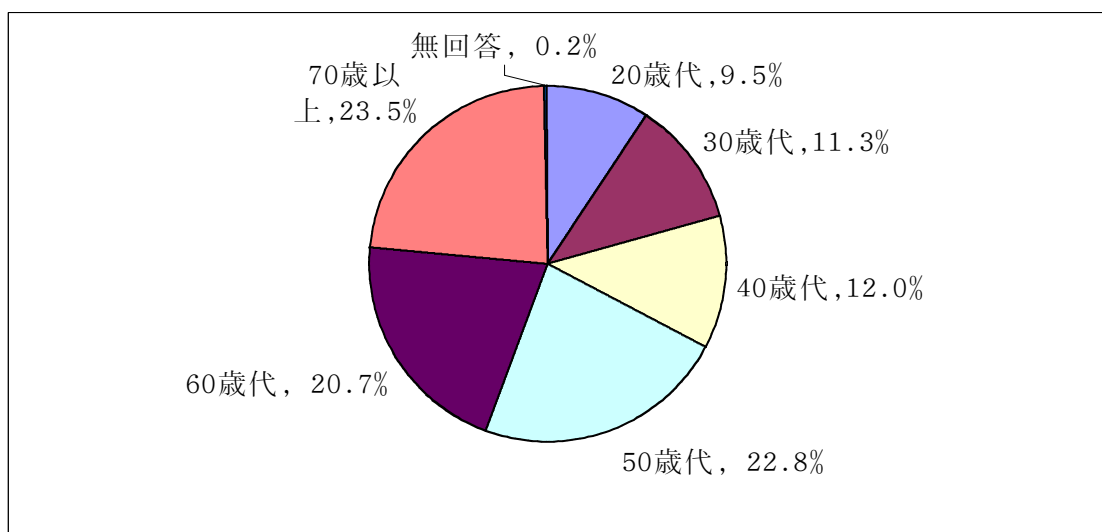
(1) 性別 (問1)

回答者の性別は、「女性」54.5%、「男性」44.9%と「女性」の割合が「男性」を上回り、市政やまちづくりに対して「女性」の関心が高いことがうかがえた。



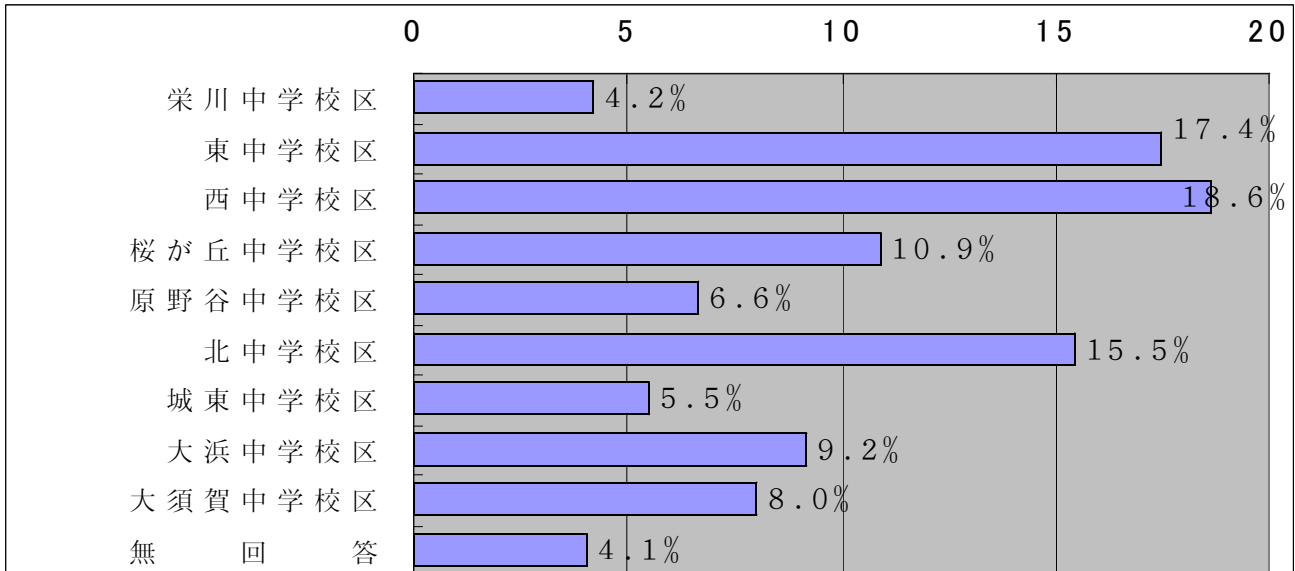
(2) 年齢 (問2)

回答者の年齢は、「20歳代」9.5%、「30歳代」11.3%と、若い世代の回答割合が約2割を占めた。一方、「60歳代」20.7%、「70歳代以上」23.5%と、回答割合は4割以上となっており、回答は高齢者の意向が多少強く反映されていることがうかがえた。



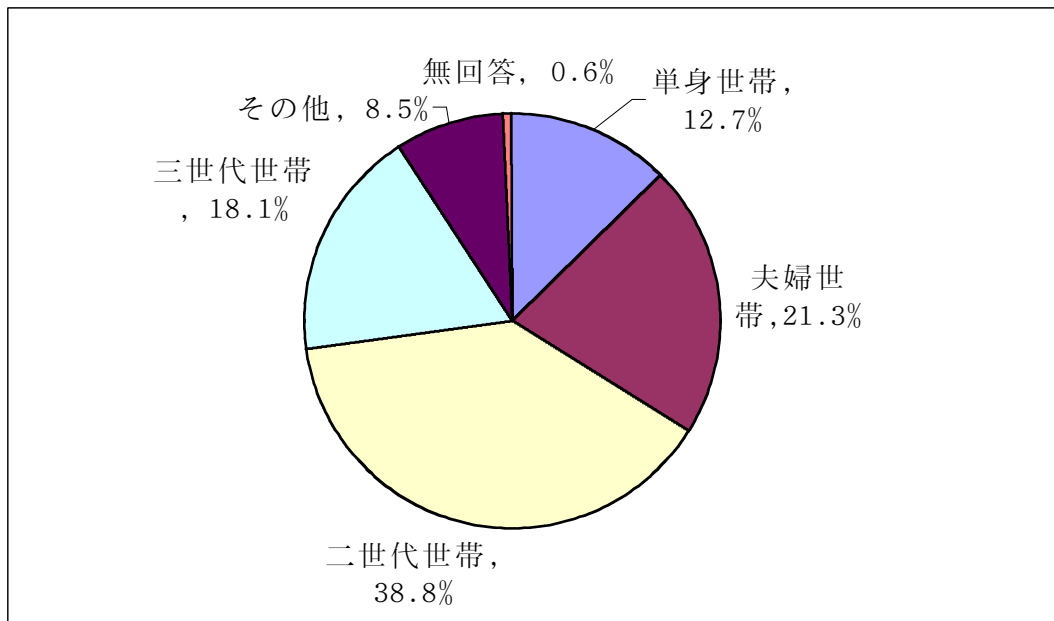
(3) 住まい (問3 中学校区)

回答者の住まい (中学校区) は、「西中学校区」18.6%、「東中学校区」17.4%などが上位を占め、次いで「北中学校区」が15.5%でした。中学校区の人口規模の違いとともに、回答者が両中学校区に多く居住していることがうかがえた。



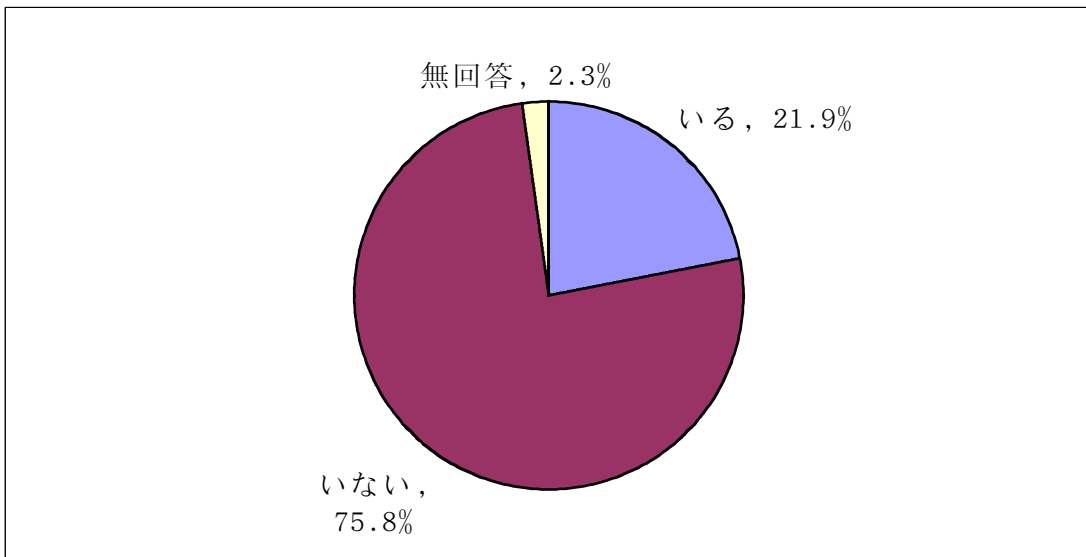
(4) 家族構成 (問4)

回答者の家族構成は、「二世帯世帯 (親と子)」38.8%、「夫婦世帯 (子なし)」21.3%などが上位を占め、核家族化が進行していることがうかがえた。一方、「三世帯世帯」は18.1%と約2割を占めた。



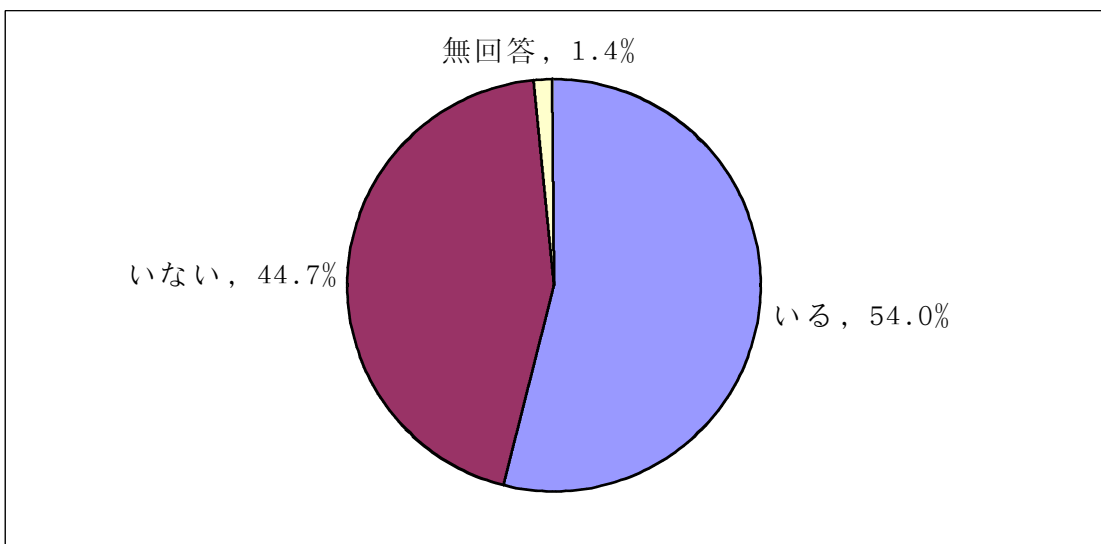
(5) 高校生以下の子どもの有無(問5)

回答者の子どもの有無(高校生以下)は、「いない」75.8%で約7割以上を占めていることから、少子化がすすんでいることがうかがえた。



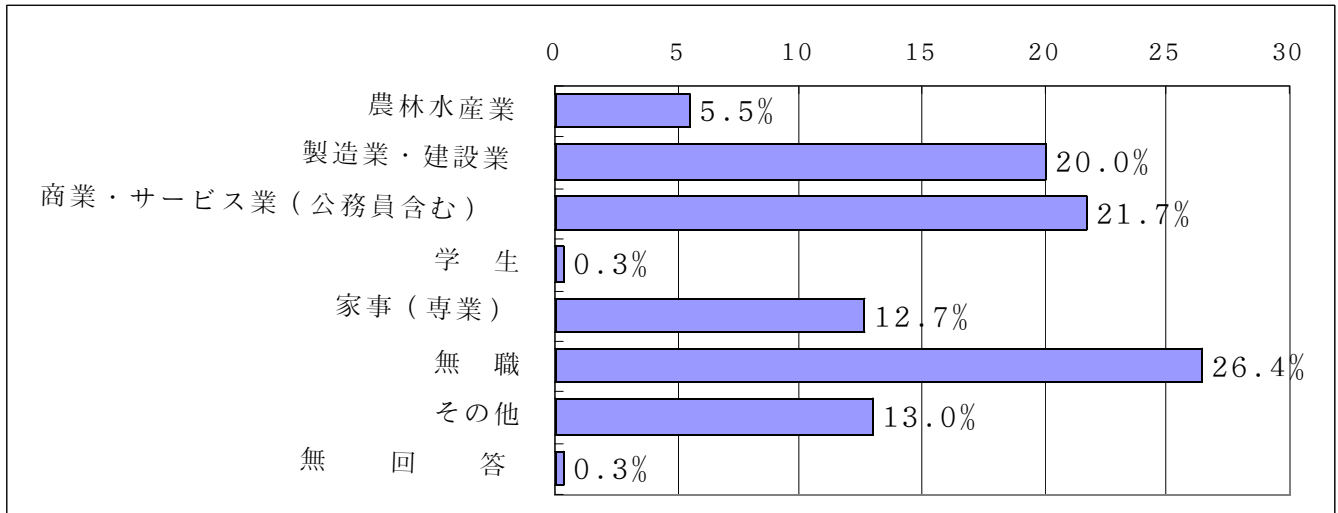
(6) 65歳以上の家族の有無(問6)

回答者の65歳以上の家族の有無は、「いる」54.0%、「いない」44.7%とおおよそ半数となり、高齢化が進んでいることがうかがえた。



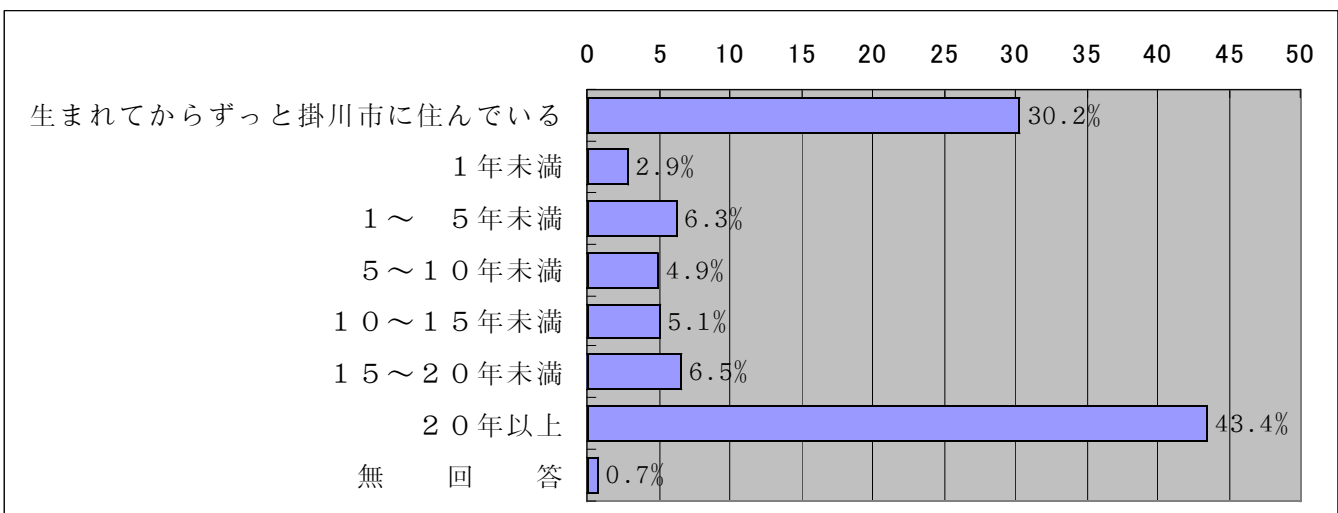
(7) 職業 (問7)

回答者の職業は、「無職」が 26.4 %で最も多く、(2) であったように高齢者の回答が多いことがうかがえた。働いている方の職種は「商業・サービス業」が 21.7%、「製造業・建設業」が 20.0 %と上位を占めた。



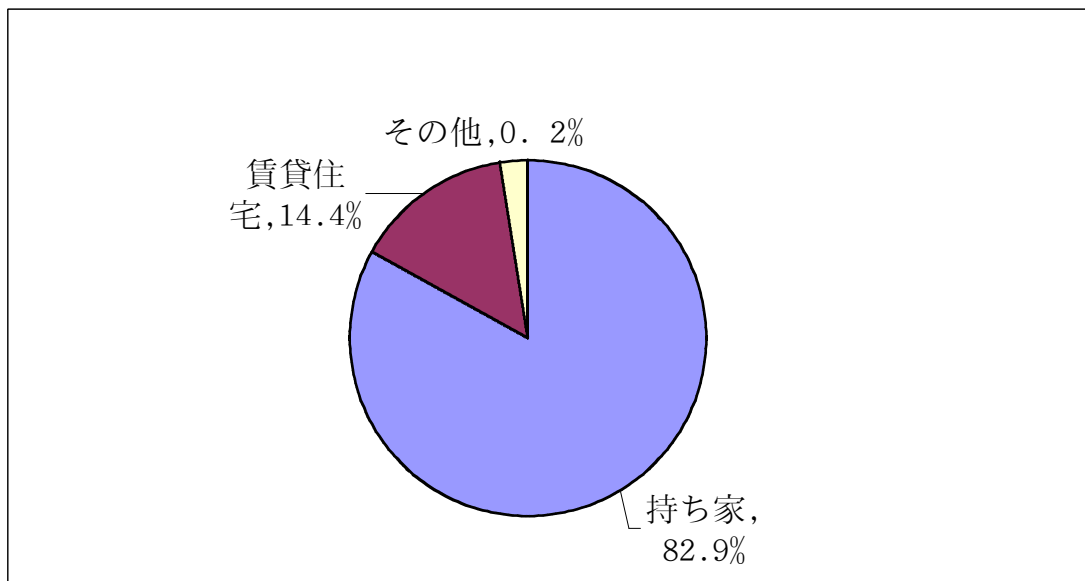
(8) 居住年数 (問8)

居住年数は、「20年以上」43.4%「生まれてからずっと」30.2%などが上位を占め、長期的居住傾向であることがうかがえた。



(9) 住宅種類 (問9)

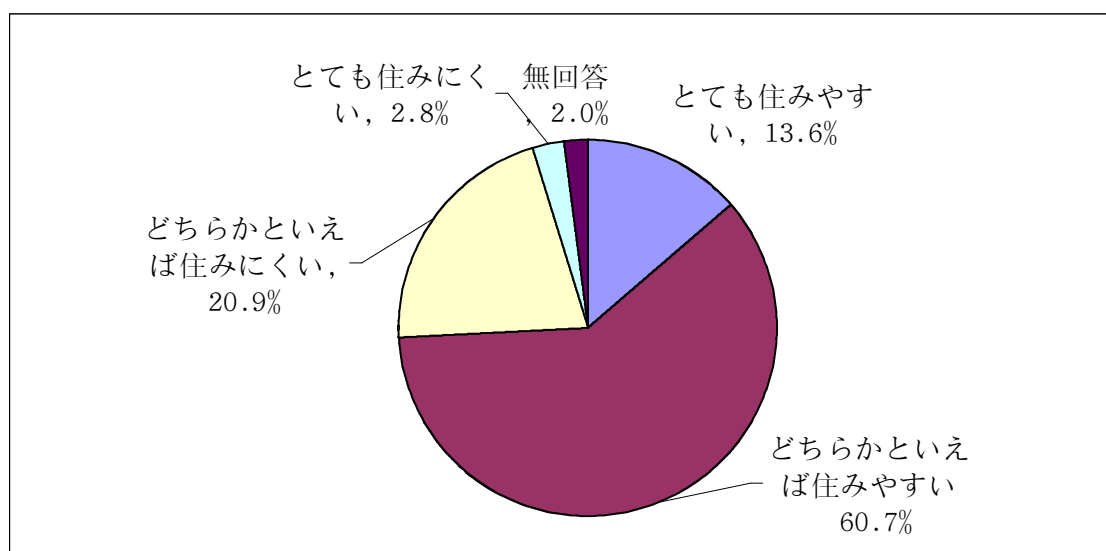
持ち家が 82.9%と大部分を占め、一方賃貸住宅は 14.4%となった。



(10) 住みやすさ (問10)

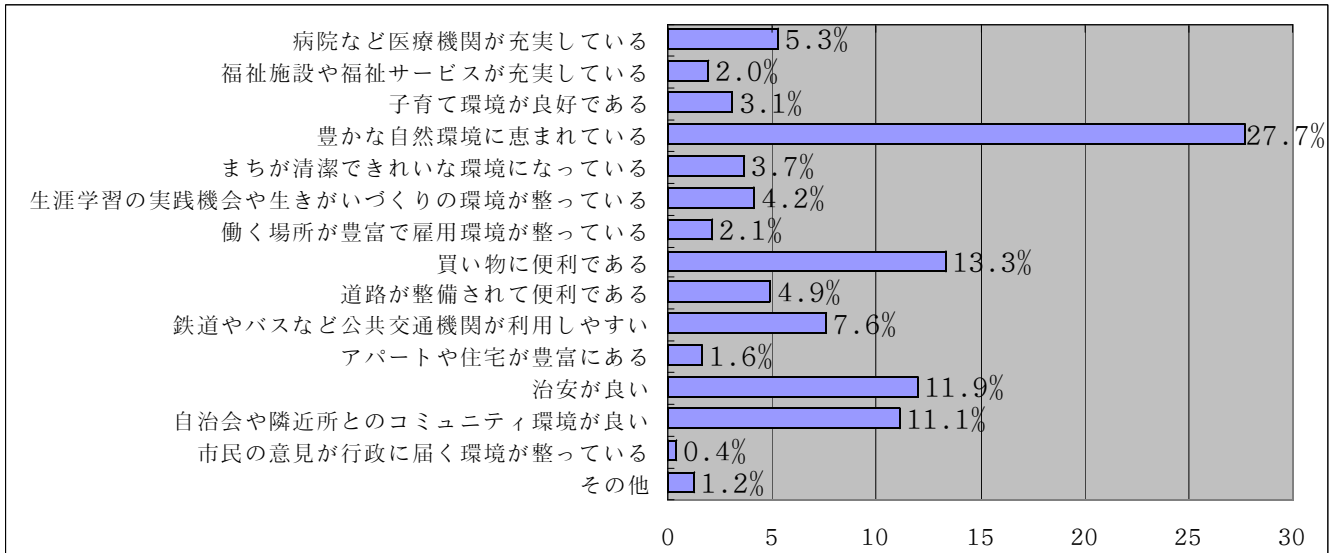
「どちらかといえば住みやすい」60.7%、と上位を占め、「とても住みやすい」13.6%とあわせると7割以上が住みやすいと感じている。

一方、「どちらかといえば住みにくい」「とても住みにくい」をあわせた数は 23.7%となった。



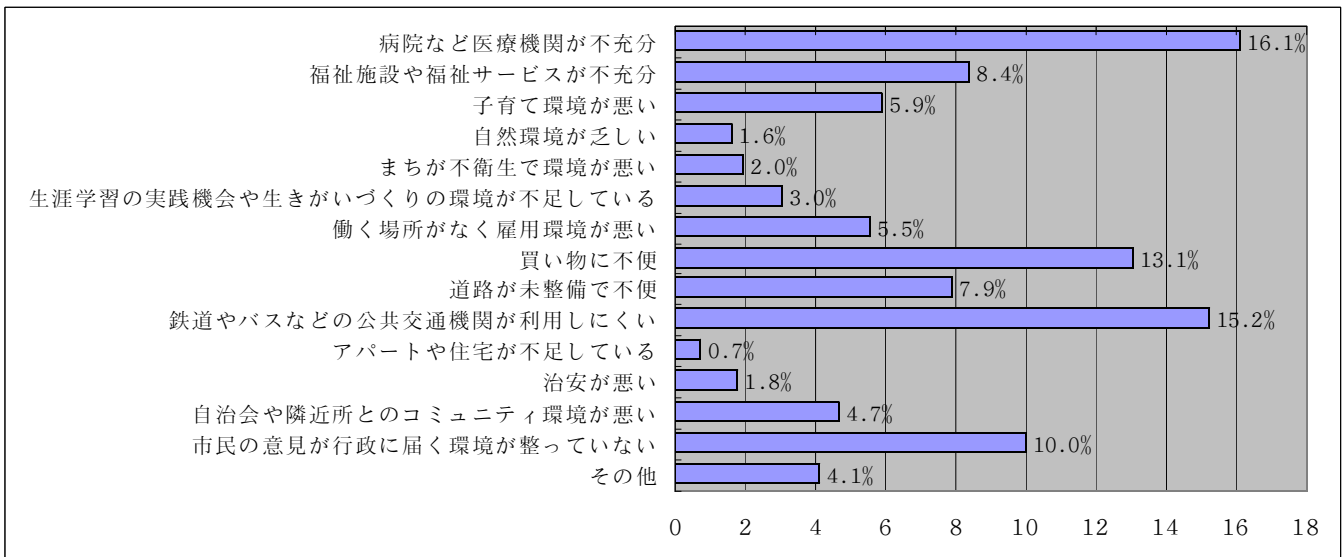
(11) 住みやすいと感じる点（問 11）

「豊かな自然環境に恵まれている」が 27.7%と上位を占め、次いで「買い物に便利である」13.3%「治安が良い」11.9%との結果となった。



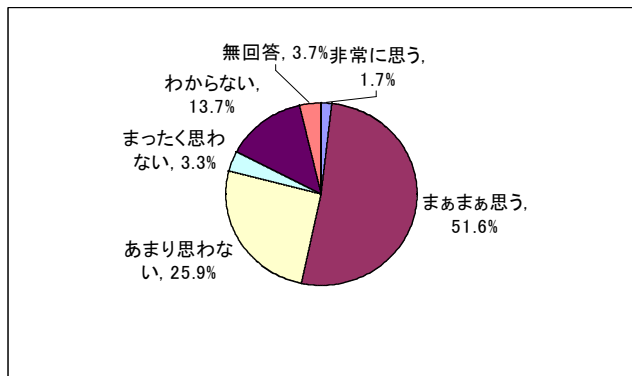
(12) 住みにくいと感じる点（問 12）

「病院など医療機関が不十分」が 16.1%上位を占め、次いで「鉄道やバスなどの公共交通機関が利用しにくい」15.2%、「買い物に不便」13.1%との結果となった。



<13-1>

掛川市は、安心して子どもを産み育てる環境が整っているまちだと思いますか？

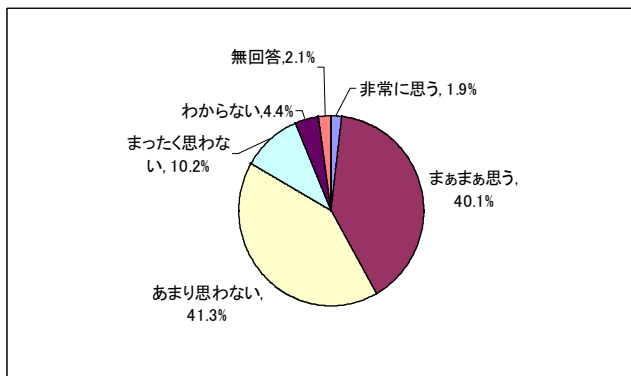


「非常に思う」1.7%、「まあまあ思う」51.6%と肯定的回答が過半数を占めた。

「あまり思わない」25.9%、「まったく思わない」3.3%と否定的回答は3割近くとなった。

<13-2>

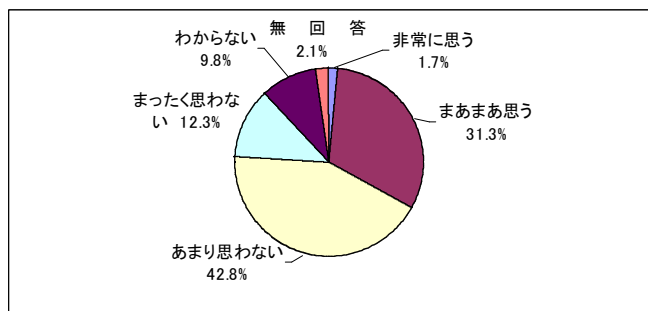
掛川市は、病気やケガなど万一の時、いつでも安心した医療が受けられるまちだと思いますか？



「非常に思う」1.9%、「まあまあ思う」40.1%であり、「あまり思わない」41.3%、「まったく思わない」10.2%と否定的回答が過半数を占めた。

<13-3>

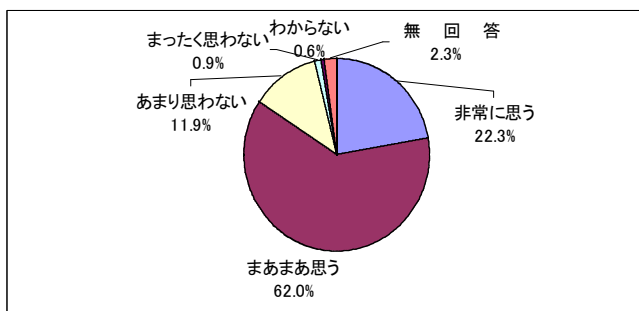
掛川市は病人や障害者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？



「非常に思う」1.7%、「まあまあ思う」31.3%であり、「あまり思わない」42.8%、「まったく思わない」12.3%と否定的回答が過半数をしめた。

<13-4>

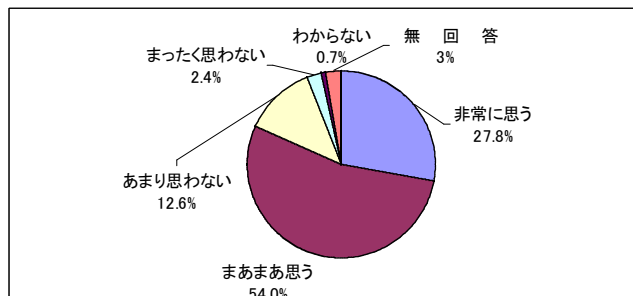
あなたは常日頃、ごみの減量化、節水、電気使用量削減など地球環境保全のために行動していると思いますか？



「非常に思う」2.3%、「まあまあ思う」62.0%と肯定的回答が64.3%と高い数値を得た。「あまり思わない」11.9%、「まったく思わない」0.9%で否定的回答は12.8%に留まった。

<13-5>

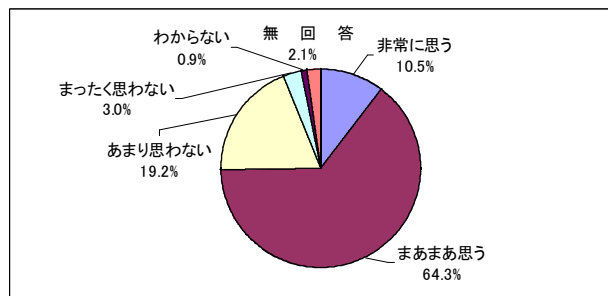
あなたは、豊かな自然を身近に感じて暮らしていると思いますか？



「非常に思う」27.8%、「まあまあ思う」54.0%と肯定的回答が8割を超え高い数値を得た。否定的回答は、15%に留まった。

<13-6>

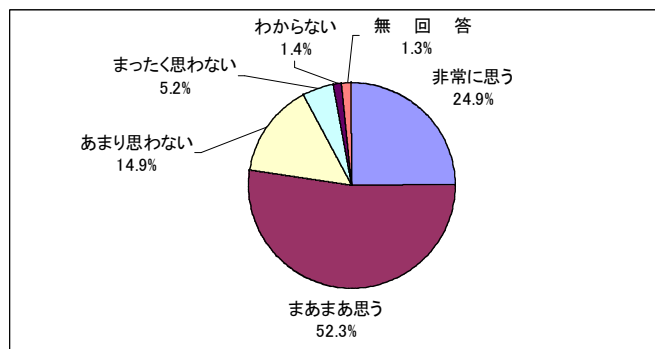
あなたがお住まいの地域は、清潔できれいな生活環境が保たれていると思いますか？



「非常に思う」10.5%、「まあまあ思う」64.3%と肯定的回答が7割を超え高い数値を得た。否定的回答は22.2%であった。

<13-7>

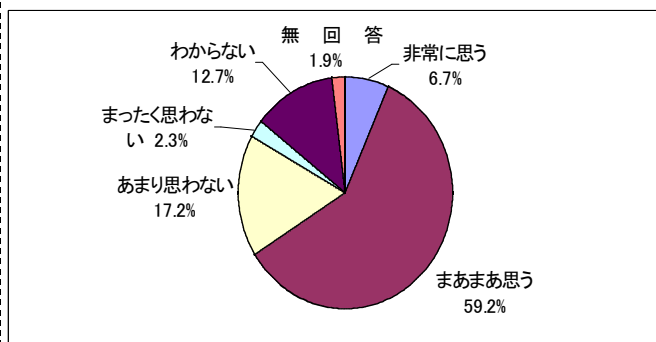
あなたは、上水道が安心して飲め、断水などが無く、安定して供給されていると思いますか？



「非常に思う」24.9%、「まあまあ思う」52.3%と肯定的回答が8割近くとなり高い数値を得た。否定的回答は20.1%であった。

<13-8>

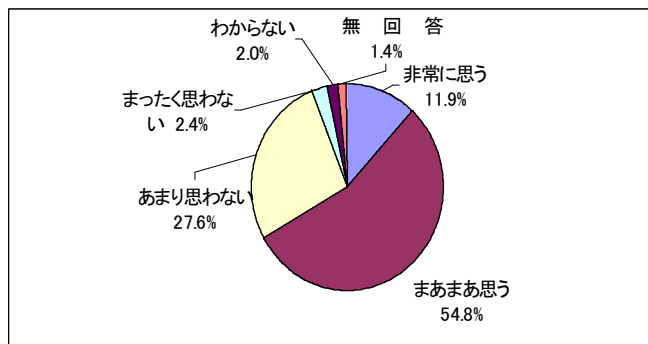
あなたは、地域の子ども達が、心身ともに健全に成長していると思いますか？



「非常に思う」6.7%、「まあまあ思う」59.2%と肯定的回答が6割を超えた。否定的回答は19.5%であった。

<13-9>

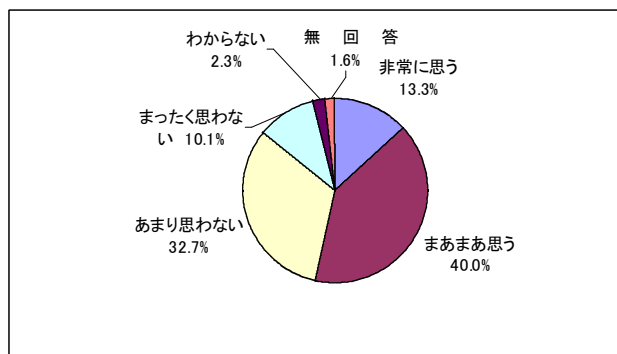
あなたは、健康に気づかい生きがいを持って人生を送れていると思いますか？



「非常に思う」11.9%、「まあまあ思う」54.8%と肯定的回答が6割を超えている。否定的回答は3割であった。

<13-10>

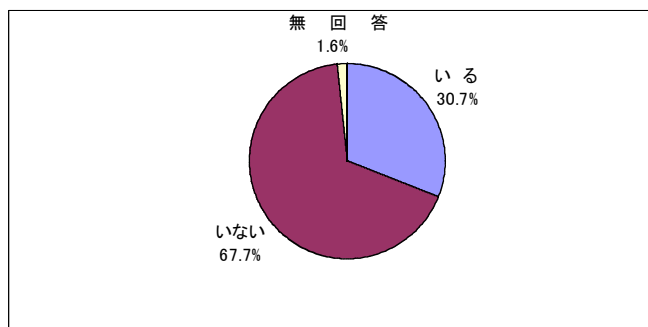
あなたは、生きがいを感じる趣味や活動に取り組んでいると思いますか？



「非常に思う」13.3%、「まあまあ思う」40.0%と肯定的回答が5割を超えたが、否定的回答も4割を越す回答となった。

<13-11>

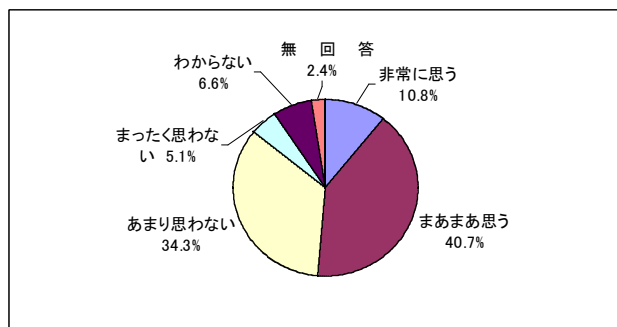
あなたは、週1回以上スポーツやレクリエーションをしていますか？



「いる」30.7%、「いない」67.7%であり、否定的回答が多くを占めた。

<13-12>

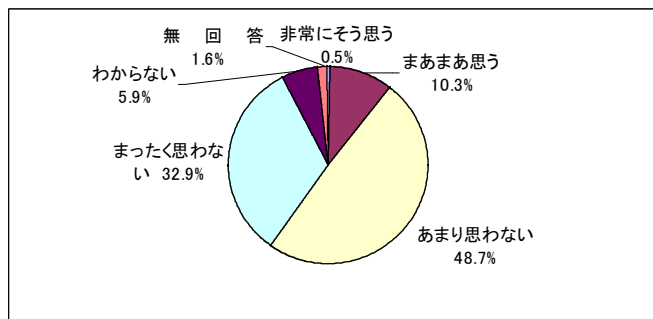
あなたは、郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持っていますか？



「非常に思う」10.8%、「まあまあ思う」40.7%と肯定的回答が5割を超え、否定的回答は39.4%であった。

<13-13>

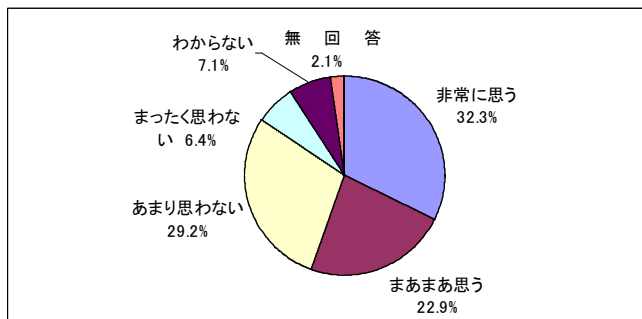
掛川駅周辺の中心市街地は、魅力的で楽しい場所だと感じますか？



「非常に思う」0.5%、「まあまあ思う」10.3%と肯定的回答が1割程度で極めて少なく、「あまり思わない」48.7%、「まったく思わない」32.9%と否定的回答が8割以上を占め極めて多い。

<13-14>

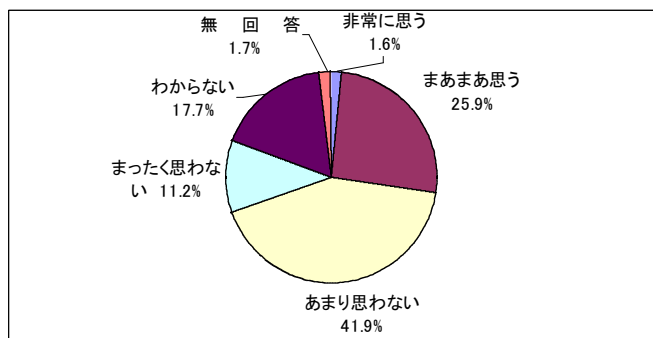
あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？



「非常に思う」32.3%、「まあまあ思う」22.9%と不便を感じている割合が5割を超え、「あまり思わない」29.2%、「まったく思わない」6.4%と不便を感じていない割合が3割という結果となった。

<13-15>

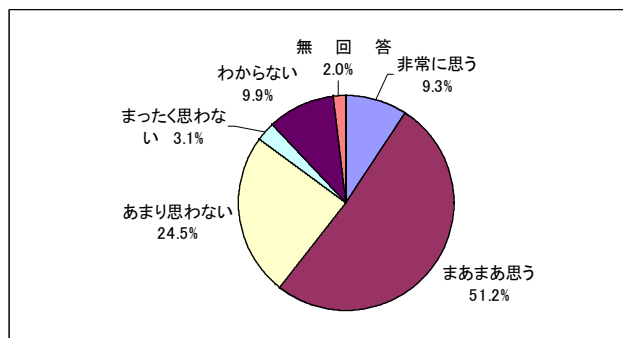
掛川市は、計画的な土地利用や都市計画により、住宅・商業・農業・工業がバランス良く配置されているまちだと思いますか？



「非常に思う」1.6%、「まあまあ思う」25.9%肯定的回答が3割に満たず、「あまり思わない」41.9%、「まったく思わない」11.2%と否定的回答が5割を越えた。

<13-16>

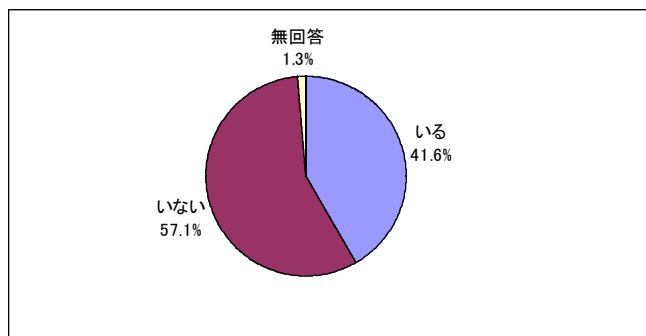
あなたは、地震発生など災害時に自分がどのように行動すれば良いか自覚していますか？



「非常に思う」9.3%、「まあまあ思う」51.2%肯定的回答が6割となり自覚をもっていることがうかがえた。一方否定的回答は、3割を満たなかった。

<13-17>

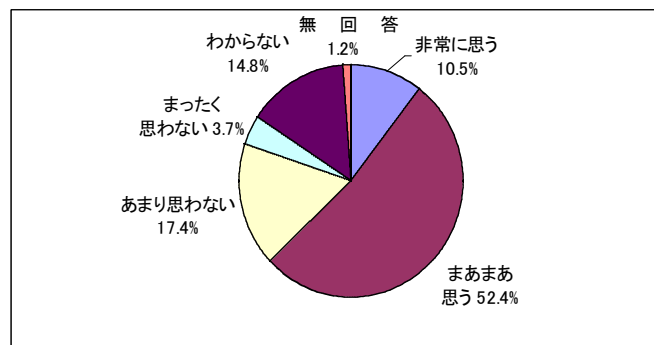
あなたは、災害に備えて水や食料など非常持ち出し品を準備していますか。



「いる」41.6%、「いない」57.1%で、準備をしていないとの回答の方が多くを占めた。

<13-18>

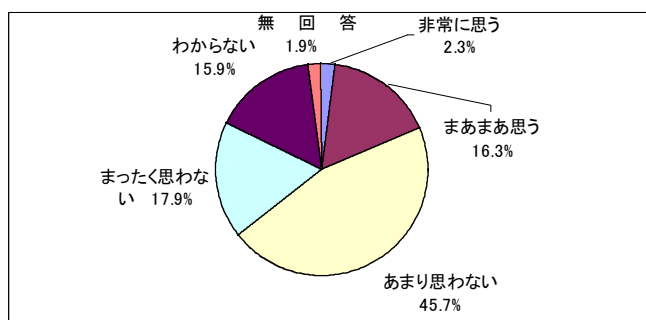
掛川市は、火事や急病の時に直ちに駆けつけてくれる、信頼できる消防救急体制が確保されていると思いますか。



「非常に思う」10.5%、「まあまあ思う」52.4%肯定的回答が6割を越えた。否定的回答は2割に留まった。

<13-19>

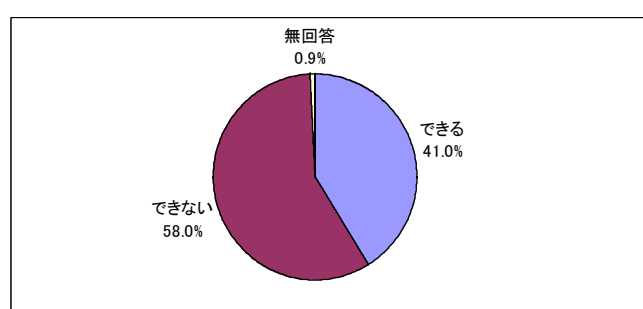
あなたの力は、より良い地域づくり・まちづくりに活かされていると思いますか。



肯定的回答が2割を満たず、「あまり思わない」45.7%、「まったく思わない」17.9%と否定的回答が6割を越えた。

<13-20>

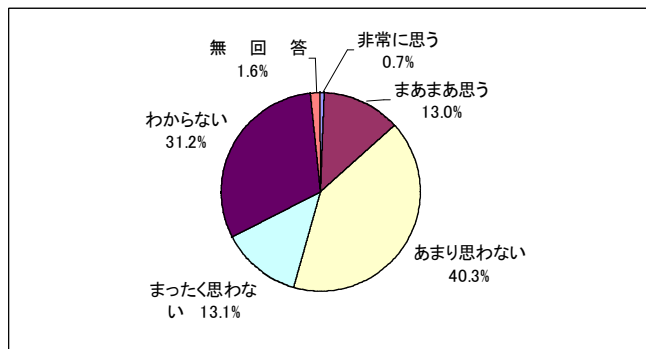
あなたは、自宅でインターネットを利用することができますか？



「できる」41.0%、「できない」58.0%でできないとの回答が若干上回った。

<13-21>

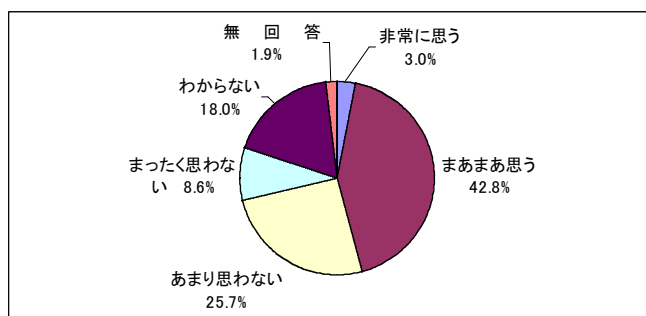
掛川市は、他の自治体に比べ行政改革が進んでいると思いますか？



肯定的回答が 13.7 %、
「あまり思わない」 40.3% 「まったく思わない」 13.1%と、否定的回答が 5 割を越え、一方「わからない」 31.2%、「無回答」 1.3%と 3 割を越えた。

<13-23>

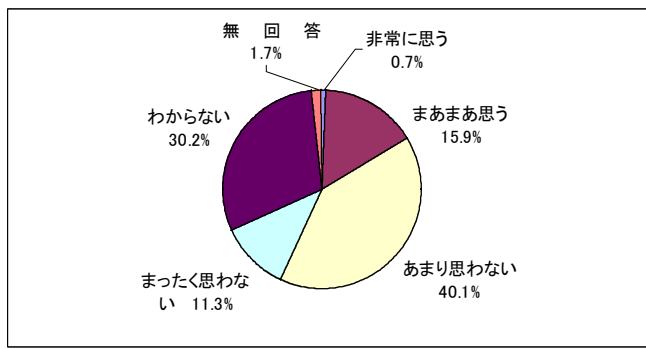
あなたは、掛川市役所の窓口サービスが迅速で効率よく提供されていると思いますか？



「非常に思う」 3.0%、「まあまあ思う」 42.8% 肯定的回答が 4 割を越え、
「あまり思わない」 25.7% 「まったく思わない」 8.6%と否定的回答が 3 割を越えた。

<13-22>

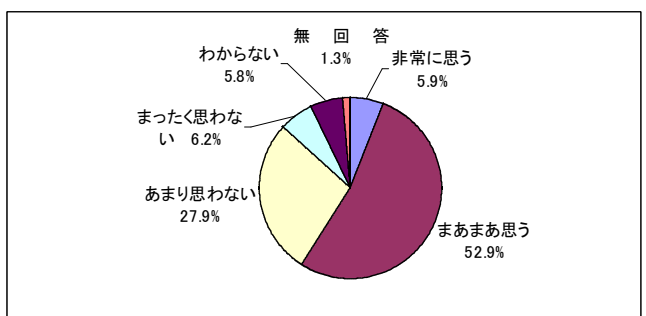
掛川市は、他の自治体に比べ情報公開や情報提供が進んでいると思いますか？



肯定的回答が 16.6%、
「あまり思わない」 40.1%、「まったく思わない」 11.3%と否定的回答が 5 割を越え、一方「わからない」 30.2%、「無回答」 1.7%と 3 割を越えた。

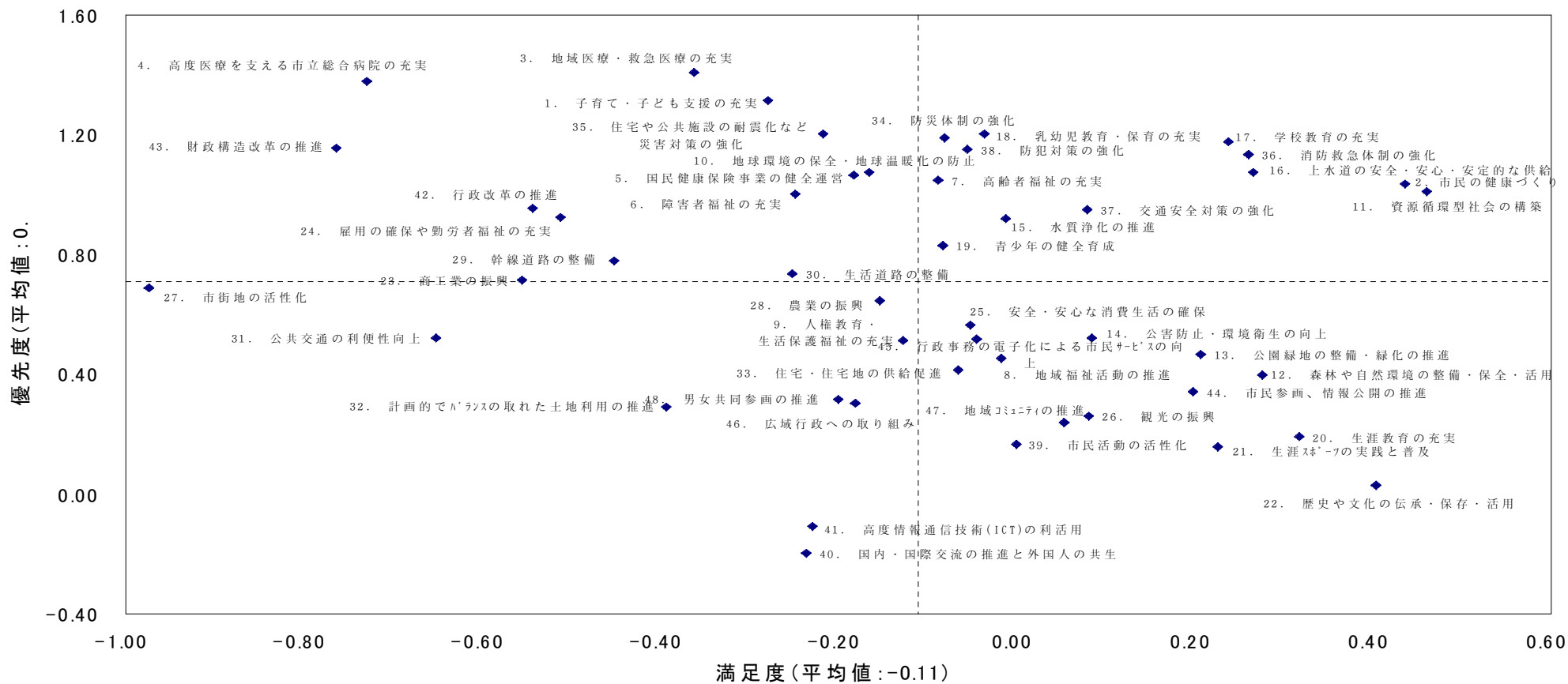
<13-24>

あなたがお住まいの地域は、人と人が信頼し、助け合える環境になっていると思いますか？



「非常に思う」 5.9%、「まあまあ思う」 52.9% 肯定的回答が 6 割近くであった。
否定的回答は 3 割を越えた。

■ 市民意識調査のポートフォリオ分析

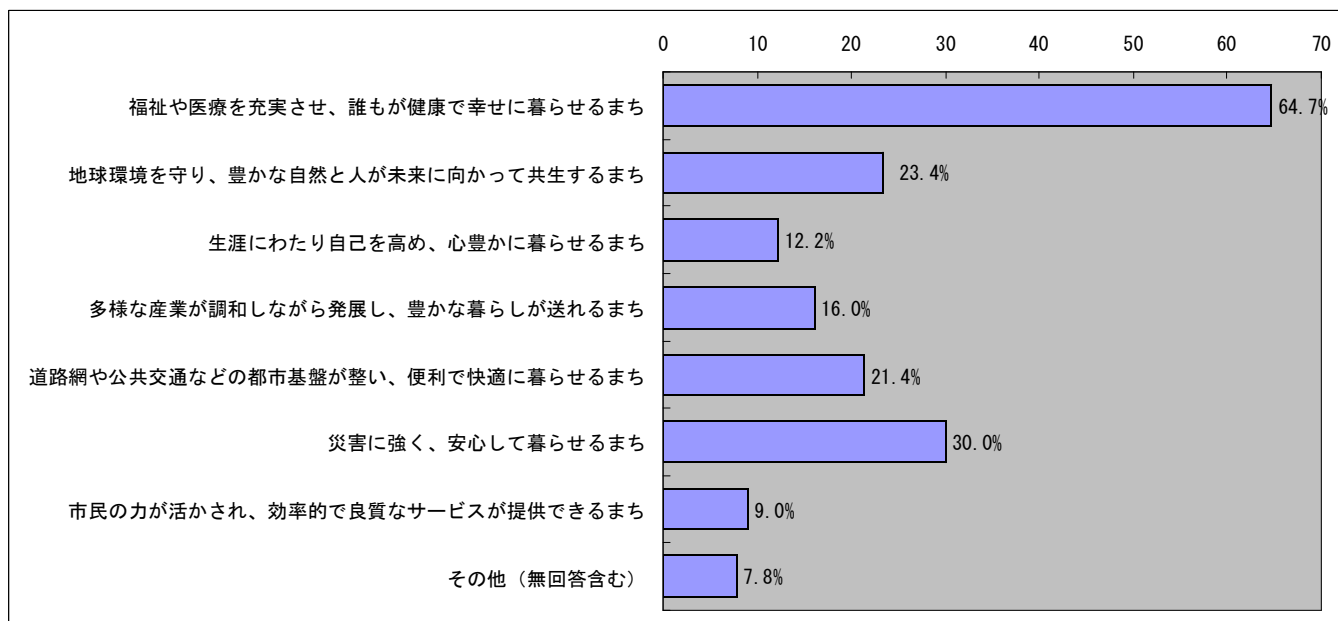


(凡例)

| | |
|---|---|
| A | B |
| C | D |

- Aゾーン：積極的投資する施策分野
- Bゾーン：積極的に現状維持する施策分野
- Cゾーン：現状維持する施策分野
- Dゾーン：投資量を縮小する施策分野

(15) これからの掛川市は、どのようなまちづくりに優先して取り組むべきでしょうか？



「福祉・医療」に対する関心が最も高く、64.7%を占めた。「災害」に対する関心は30.0%、「地球環境保全」23.4%、「都市基盤」が21.4%と次いだ。

第3章 調査結果のまとめ

1 「住みやすさ」

「とても住みやすい」と「どちらかと言えば住みやすい」を合わせた肯定的回答は、約7割をこえたが、平成18年度調査では8割に達しており、若干数値が減る結果となった。

2 「これからのまちづくりへの優先度」

これからのまちづくりへの優先すべき視点は「福祉や医療を充実させ、誰もが健康で安らかに暮らせるまち」が最も高い回答であり、平成18年度調査と同じ項目であり、次いで回答が多かった「災害に強く、安心して暮らせるまち」についても、平成18年度調査においては同項目となっている。

3 「満足度と優先度の関係」

48施策の満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度（グラフ上側がより優先度が高く、下側がより優先度が低い）を、横軸に満足度（グラフの右側がより満足度が高く、左側がより満足度が低い）をとってグラフ化しました。座標の原点は、満足度と優先度の両者とも平均値としています。各象限に位置づけられた施策は48施策の比較の中では概ね次のように評価されたと考えることができます。

（1）満足度も優先度も高い施策 — Bゾーン（グラフ右上側）

48施策の比較では、満足度も優先度も高い項目になります。相対的に重要度が高いことから、積極的に現状維持する施策となります。

【満足度も優先度も高い施策】

- ・ 2 市民の健康づくり
- ・ 7 高齢者福祉の充実
- ・ 11 資源循環型社会の構築
- ・ 15 水質浄化の推進
- ・ 16 上水道の安全・安心・安定的な供給
- ・ 17 学校教育の充実
- ・ 18 乳幼児教育・保育の充実
- ・ 19 青少年の健全育成
- ・ 34 防災体制の強化
- ・ 36 消防救急体制の強化
- ・ 37 交通安全対策の強化
- ・ 38 防犯対策の強化

(2) 満足度が低く、優先度が高い施策 - Aゾーン (グラフ左上側)

48 施策の比較では満足度が低く、優先度が高い施策になります。不満度合いと重要性が高いことから、不満の解消に向けて積極的に取り組むべき施策になります。

【満足度が低く優先度が高い施策】

- ・ 1 子育て・子ども支援の充実
- ・ 3 地域医療・救急医療の充実
- ・ 4 高度医療を支える市立総合病院の充実
- ・ 5 国民健康保険事業の健全運営
- ・ 6 障害者福祉の充実
- ・ 10 地球環境の保全・地球温暖化の防止
- ・ 23 商工業の振興
- ・ 24 雇用の確保や勤労者福祉の充実
- ・ 29 幹線道路の整備
- ・ 30 生活道路の整備
- ・ 35 住宅や公共施設の耐震化など災害対策の強化
- ・ 42 行政改革の推進
- ・ 43 財政構造改革の推進

(3) 満足度も優先度も低い施策 - Cゾーン (グラフ左下側)

48 施策の比較では、満足度も優先度も低い施策になります。市民の不満の要因を把握し、満足度向上に向けて計画的に改善を図るべき施策になります。

【満足度も重要度も低い施策】

- ・ 9 人権教育・生活保護福祉の充実
- ・ 27 市街地の活性化
- ・ 28 農業の振興
- ・ 31 公共交通の利便性向上
- ・ 32 計画的でバランスの取れた土地利用の推進
- ・ 40 国内・国際交流の推進と外国人の共生
- ・ 41 高度情報通信技術 (ICT) の利活用
- ・ 46 広域行政への取り組み
- ・ 48 男女共同参画の推進

(4) 満足度が高く優先度は低い施策 — Dゾーン (グラフ右下側)

48 施策の比較では満足度が高く、優先度が低い施策であり、今後も市民の満足度の維持に計画的に努める施策になります。

【満足度が高く優先度は低い施策】

- ・ 8 地域福祉活動の推進
- ・ 12 森林や自然環境の整備・保全・活用
- ・ 13 公園緑地の整備・緑化の推進
- ・ 14 公害防止・環境衛生の向上
- ・ 20 生涯教育の充実
- ・ 21 生涯スポーツの実践と普及
- ・ 22 歴史や文化の伝承・保存・活用
- ・ 25 安全・安心な消費生活の確保
- ・ 26 観光の振興
- ・ 33 住宅・住宅地の供給促進
- ・ 39 市民活動の活性化
- ・ 44 市民参画、情報公開の推進
- ・ 45 行政事務の電子化による市民サービスの向上
- ・ 47 地域コミュニティの推進

第4章 自由回答結果 (主な意見)

【保健医療福祉分野】

- ・1日で多くの健診が受けられるようにして下さい。旧大東町の健康診断方式は良かった。
- ・高齢化社会・安心して老後を過ごせる掛川市を期待します。
- ・子どもを育てる環境ではない。市立病院の医師不足etc 小児科の対応をもっと真剣に取り組んで欲しい。
- ・福祉や医療 心豊かに暮らせるまちに取り組んでほしい。
- ・掛川市立総合病院に関して、袋井市より統合希望との事だが財源的に見通しがたたなければ公設・公営・組合等を考え合同で新病院を建設したらいい。場所は道路条件、面積的、人工的(掛川市12万人、袋井市8万人)にも市立病院の現在地が最良地だと思う。医師・看護師不足も改良できる。国と県に要望書を提出して早期に実現して欲しい。医師・看護師が大都市に集中することを防ぐため、地域医療の充実を図るために全国の医学部に学生の1/2は地域に就職する法案化が必要だと思う。
- ・医療関係や福祉(市立病院)に時々行きますが、待つ時間が長すぎる。誰しもが病院にはかかります。市民税を上げてもいいので待つ時間を減らし先生との会話を増やしたいと思います。大変だとは思いますが。
- ・低料金の介護施設を充実して欲しい。
- ・市立病院にいつでも具合の悪いときにかかれる様になれますように。今は行っても、他の医院に行くように言われて帰りました。子供(高校生)と私が2回見て貰えなかったです。とても悲しい思いで家に戻りました。
- ・弱者に光を当てた行政をお願いします。それが子供であっても老人であっても世話をしてやるとか、楽しませるとかというのではなく、自立の芽を伸ばす視点であって欲しいと思います。
- ・子供の医療費が「小学生は500円、乳幼児は無料」にして貰えると助かる。現在の医療費制度では負担が大きい。またインフルエンザの予防接種の無料化なども考えてもらえるとうれしい。市民病院が充実していないため、救急の時を考えると少し不安である。
- ・子供達が元気でのびのび生活、成長できる環境作り。みんなが住みやすい街づくりをお願いします。
- ・救急で朝早くと午後の時間外に市立病院に行ったとき、対応のできる先生がいなくてすぐ手術できなかったり、骨折しているのもすぐわからなく翌日入院になったりした。もうちょっとちゃんと対応できる先生をおいて欲しい。
- ・福祉と言いきすぎだと思います。人に甘えず自分のなすべきことをやりながらこの世に居るうちは周りの人達と仲良く過ごしたいものです。
- ・私自身大変苦勞した25年前の子育て。環境整備、仕事、会社、家庭、保育は、今の若いお母さん方を支援してやって下さい。(板挟みです。夫の教育も必要)

【環境生活分野】

- ・大井川の水がなければ生活できない現状を市民に知得させるべきと存じます。
- ・自然豊かなまちづくりをお願いします。
- ・逆川をいつもウォーキングしています。4月には桜がとても綺麗でしたが残念なことに部分的に植えてあるのでこれがもっと続いていたら綺麗だろうなあと考えていました。掛川城を中心に逆川の土手の両側に桜並木をつくったらいかがでしょうか。お城がもっと映えると思います。
- ・掛川市政の為に取り組み尽力されていることを再認識しました。環境問題として、エコライフ促進、活動するために市民一人一人が関心を持ち生活することが大切です。
- ・山の緑と茶畑の新緑が目にしみる自然豊かな住みよいまちであり続けて欲しい。
- ・愛犬の散歩についてお願いをします。住居の横、前を多くの住民の方々が犬の散歩、ふんをさせるのですが、ふんをそのまま放置して行ってしまうのです。私の家ではそこを手鎌で草刈りをするのですが、汚くて参っています。せめて住まいの周りではふんをさせない様、市から注意を促して欲しいと思います。又、「ふん、尿禁止の立て札」を地区へ沢山配布していただきたい。隣近所の方達に口に出して注意できない事をご理解して下さい。是非ともお願いします。
- ・ゴミ捨て近年目立ちます。
- ・環境問題は私達の孫の代に関わる重大事です。小さな事からも大事だと思います。
- ・海岸に緑を植えて、砂防の意味でも。だんだん砂丘が少なくなっていることを思い強い木を植えて浸食を防いで欲しいです。
- ・地球環境（ゴミを絶対に燃やさない）近所の洗濯物に悪いです。事業所に対しても注意して欲しい。

【教育文化分野】

- ・ 現在保育園に通っている2児の母ですが、少子化と言いながらも、保育園に入園させる事が厳しいのが不満です。仕事をしていないと園に入れない…。小さい子供がいたら仕事を探せないのではないですか。順序が違う気がします。でも、掛川は生まれ育った街で、海も山も近くとても好きです。自然はこれからも大切にしていってほしいと思っています。保育園の待ちがない対策を作って欲しい。
- ・ 乳幼児保育について、第2子誕生により第1子の保育園を退園しなくてはならないことに異議があります。母親が仕事を続けるため（正規職員）には育児休暇等、復帰してからも二人保育園に預けるための料金いくら半額になるとはいえ、負担になる。祖母が別居・同居にかかわらず第2子が2才くらいになるまでは第1子だけでも保育を続けさせてくれない物でしょうか？育休で家にいるからと第1子を退園させるのでは、母親の育児・体力回復、ストレスにも影響が出ます。少子化に拍車をかけていませんか？
- ・ 子供達の為、ｽﾎﾟｰﾂ施設の充実（野球場・サッカー場・体育館・陸上ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ等）。まだまだ旧掛川市へ集中していると感じられる。広域にまんべんなく施設があれば利便性も高まる。
- ・ 今一番大事なことは子育て支援より、30代～50代の男女の進む道をしっかり応援してやって欲しい。結婚問題など、民生委員がやっていますがそこに行きやすく楽しんでいけるような場所にしてやって欲しい。（早急をお願いしたいことです。）
- ・ 戸塚市長になり「さんりーな」の料金体系が変更されそれまで生き生きと「さんりーな」を利用していた高齢者の姿をぱったりと見なくなり、今では来場者が大幅に減っています。高齢者の健康増進に役立ち、医療費の削減にもつながる、高齢者の体力づくりの機会を一片の通知で破棄されたことに非常に憤りを覚えます。高齢者に福祉施策の少ない掛川市として「さんりーな」の高齢者利用を老人福祉の一環として早急に再考願いたい。（他都市ではかなり普及している制度です）
- ・ 大須賀地区は老人子供達のｽﾎﾟｰﾂ施設が0に等しい。現在西大谷地区で道路工事をしています。その土を松尾町にある富士電機工場跡地に埋め、ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞを造ってほしい。サッカー少年団、ｸﾞﾗﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌｸﾞｰﾄﾞﾌｰﾙ場等一気に問題解決です。
- ・ 今とても満足しています。自然を守り市の催し物や教室を多くやっていただき心豊かに暮らしていきたいと願っています。
- ・ 大人も子供も道徳を理解し、常識をわきまえ、思いやりのある人が増えればおのずと住みよい町になると信じます。教育は重要です。
- ・ 我が子がまだ小さいため、子供のためにもっと公園を作って欲しい。遊具は事故が多いためどんどん無くなってしまっているが、事故があればすぐ市や管理責任の問題にされてしまうため、市の方からどんどん撤去してしまっているように思える。問題になるのが面倒くさいのか。新しく作ることはありえないとのこと。さみしかったです。

【産業経済分野】

- ・私は名古屋から掛川市に来ました。新幹線のある駅の駅前があつた雰囲気にごく驚きました。駅前からもっと人が集まりたくなるよう変えていただきたいです。駅周辺を活性化させて欲しい。
- ・駅から城、商店街があまりにも淋しいと思う。市が何とかして欲しいという他力本願な考えを持つ人が商店のなかでは多い気がする。市が主導ではなく、店主から色々な考えが出るようになれば、好転の期待ももてそうですが…難しいですね。
- ・城下町づくりを進めてほしいです。駅から城に向けての商店街の見直しをして下さい。（これで良いと思いませんか）ずっと何も変わっていない。これではますます衰退の一途をたどることになるでしょう。
- ・他県からの来訪者の要望を一言（昨年）「新幹線の駅構内にレストランが無い。駅周辺にも無いので不便。」せつかくの観光地なので通過するだけでは活性化に繋がらないのではないかと思います。
- ・ジャスコのような大型店舗が入ったビルを作って欲しいです。商店街が微妙。
- ・掛川のまちですが、人通りも少なく何となく寂しい感じがします。活気満ちた掛川のまちにして欲しいです。
- ・暗くなると街の中は人通りも少なく商店もお客さんがいないので早めに戸をしめてしまう。街をもう少し明るく楽しく買い物ができるようにと思います。
- ・駅前商店街はもっと工夫しなければいけません。全体を整理して広い駐車場をつくり、アーケードを作って駐車場までカートを押していけるようであれば、沢山の買い物はできません。実際お店を整理するのは難しいでしょうけど。
- ・駅前、連雀、中町商店街などを利用して、駐車場は広く造り、共有とし、映画館、ホッピング場、レストラン街、小さなお店などが多数入れ、人が来たくなるような所が出来たらいいと思う。
- ・公共施設が散在している点から大変不便性があり、城を中心とした街中がさびれていく原因であると思う。高齢化になり動線のせばまる人々が増加して行く中、駅中心を魅力ある設備、店舗を誘致して欲しい。
- ・駅からお城周辺にかけて緑豊かな公園が欲しい。憩いの場。駅北南に30分程度なら無料でとめておける駐車場が欲しい。

【都市基盤分野】

- ・道路が狭く（普通車1台が通るだけの巾しか無く、）災害の時が一番心配。
- ・下手な開発はせずもともとある文化財、環境を大切にしていきたい。掛川城を造り、天守台といった前の建物等を壊してしまったのは大変残念でした。
- ・どんなに街中が活性化、イベント等あってもバス等通っていないので参加できません。高齢者になって移動が大変です。意見が反映されるかも疑問に思います。
- ・循環バスを大東・大須賀地区ももう少し便を増して欲しい。（路線バスが通らない経路に）
- ・これから高齢化がますます進むと思います。この前歩道を歩いていたら、斜め だったり、継ぎ目が多かったり、小砂利が多かったり、歩道幅がせまかったりとの感あり。乳母車を引いたり、買い物かごをひいたり、車いすを操作することを想像したらとても歩けないと思いました。
- ・市の中心部だけでなく市のすみずみまで大きな目を開いてみて下さい。隅に住む私達はいろいろととても不便を感じています。まちの中は100円バスで便利ですが、隅の方は交通もありません。隅に住む私達も市民の一人です。
- ・東の方の田舎の水路とても、もったいないほど豪華に作ってあるそうです。皆さんがこんな所にお金をかけるなんて無駄なことだねと言っております（大原子）
- ・地球環境を守ろうという意味からも車でなく公共交通機関を利用したいと思うのですが、バス路線が少なくまた本数も少ない為に不便に感じます。市街地だけでなく路線を増やして欲しい。北回り、南回りの他に東回り？もできたのはとても良いことだと思う。
- ・掛川←→大東の幹線道路を早く作って欲しい。7:30~8:30 17:30~18:30が大変混雑します。
- ・自然公園が欲しい。
- ・生活道路の整備を充実させて欲しい。下水道等の工事後、段差ができて、車が通ると、地面が揺れることが起きている。市内に段差が多い。多数ある。

【防災危機管理分野】

- ・ テレビをつければ忌まわしい事件の報道ばかりで心が傷みます。安心・安全なまちづくりを望みます。
- ・ 災害が一番心配です。大須賀支所の職員だけで対応できるのでしょうか。自治会は1年交代ですし、専門知識の持ち主とは限りません。道路・電気・水道が使えない他方との連絡もとれにくくなると思います。大須賀支所だけで独立できる人員、機能を完備してください。
- ・ 火災の時、本署の消防車がくるまでは水を出してはいけない。（地元の消防車が来て水を出せる状態にあっても）本署の指示がなければ分団からは出せないことが1～2件あり、結局全焼してしまったことがある。本署が来て指示を出すまで待たなければならないということはおかしい。特に火災の時などは急を要するから。是非考えてもらいたい。
- ・ 東海地震を前に食料確保として、1 休耕田を利用した野菜の耕作の斡旋 2 各宅において家庭菜園の実施に向けたセミナー開催
- ・ 夜は真っ暗になり歩くことが怖い。車がないと生活出来ない。
- ・ 道路でルールを守り、信号機でも黄色で止る余裕を持って時速も守れば事故など起こらない。一人ひとりがルールを守ること
- ・ 災害対策として下水（トイレ）、ゴミ処理などバックアップ対策。
- ・ 何年も前から言われている東海地震については市民一人ひとりが意識できるような対策が必要だと思う。
- ・ 最近、外国人も多くなり治安が悪くなってこないかと心配しています。親と一緒に暮らしていますが、昼間訪問販売など知らない人が来たとき老人だけだと対応がとても不安です。子供達の下校時だけでなく、パトロール等増加して欲しいです。
- ・ 地盤のしっかりしたところに大規模公園を作り、災害時の避難場所をつくっておく。

【協働・広域・行財政分野】

- ・ 現在取り組んでいる施策が48個あるということを初めて知った。何をしているか、これから何をしようと考えているか、普段から誰もが知ることができるようにして頂きたい。
- ・ 合併により掛川は一つになったが、それぞれの地域で対応してもらいたいことは大きく違うと思うので広く意見を聞いて適切な対応、対策をして頂きたい。
- ・ 市役所等の設備を朝早く、夜遅くまでいろいろな仕事をしている市民のためにできるように開いて欲しいです。市民が気軽に参加できる市民音楽祭等を開催したいです。(ジャンルにこだわらず)
- ・ 隣組の精神で行政への取り組み、または、目をひかせていることが大切ではないのですか。特に一人暮らしの老人には・・。
- ・ これからは特徴ある街にする必要があると思われれます。その点でどの方向に掛川市が向かっていくのか良く見極めていく必要があると思います。市民の皆様意見をよく取り入れて行政をおこなってもらいたいです。
- ・ 合併してから、地域(大東地区・大須賀地区)の中での交流も少なくなった感じがします。広報かけがわを時間をかけて読むのですが、例えば中央にいろいろと良い施設が出来ても、じゃあ利用しようという所にいかない。(距離とか細かい利用案内等々)1箇所集中というよりも同じような施設も市の中に2箇所位あると、高齢者の多い市民もより利用、活用しやすいと思う。
- ・ 各町内会の意見を吸い上げ全市の区長会又は市民総代会意見交換を行っていると思うが、理事区長を通して市役所へ意見を提出する又、掛川市会議員で委員会の席にて各自治会の意見を集約し、問題点を解決方向をとる。掛川市もおおきくなり、東西南北とまだまだ色々な問題が数多くあると思うが、市民の声を反映することによってこれからのまちづくりは東西南北が協力し、市民が喜ぶようなまちにしたいですね。
- ・ 先日市民課へ住民票を取りに行ったとき、事務員の方が10分間の間に3回あくびをしていて書類をめくっているだけ。その後席を立ち暇そうな顔をしていました。何かとても残念です。がっかり。
- ・ 掛川市は豊かな自然に恵まれて、極悪な事件もなくとても住みよい快適な土地ですので、これからも市に移住してくる方もよく調査して善良な方以外は移住をノーにして頂きたい。
- ・ 旧大東・大須賀の住民に、被害者意識が強い。必ず出る言葉は、「以前」の方が良かった。何も特に悪くなっていないと思われるのに、吸収されたという意識が強い。合併の効果は徐々に現れてくるだろうと思う。主たる役職の「長」は旧掛川市、「副」は旧町というパターンは崩したい。自分が関わった団体は1年間は自分が「長」を務めたが、2年目は旧大須賀の出身者とした。地区対抗戦の意識は捨てたい。
- ・ 「旧掛川市と合併したのが間違だった」という声が聞かれます。サービスの低下、掛川方式が全て良いではありません。合併したのであるから旧大東町、旧大須賀町の良い所を取り入れ、市民のためによりよい掛川市を作りたいと思います。公務員は市民の奉仕者で有るということを忘れ、ヘンなエリート意識を持った職員が多いように思います。職員の意識改革、資質向上を部長、課長が先頭立って徹底されることを望みます。市の借入が多いと合併前から聞いています。正職員の数、給与の見直し(サービスが低下しないよう)早期返済を望みます。
- ・ 今のまちづくりはトップダウンの色が強いと感じられる。自治会の役職を持っていない人にもわかるように掛川市の方向性を市民に理解を得られるよう、生涯学習センターなどで1ヶ月に1回程度、項目を決めて市民にお知らせ頂くことがもっと住みよい明るい社会になると感じられますが如何でしょうか？